



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 兵機海運株式会社

上場取引所 東

コード番号 9362 URL <http://www.hyoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大東 洋治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 田中 康博

TEL 078-940-2351

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,414	10.1	80	64.5	99	62.3	258	41.2
2020年3月期第2四半期	7,138	0.6	226	10.8	264	6.5	182	6.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 406百万円 (321.5%) 2020年3月期第2四半期 96百万円 (62.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	221.11	
2020年3月期第2四半期	156.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	11,745	2,883	24.5	2,468.86
2020年3月期	11,236	2,535	22.6	2,171.30

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,883百万円 2020年3月期 2,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				50.00	
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当金額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	7.0	80	70.6	100	68.6	70	56.8	59.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	1,224,000 株	2020年3月期	1,224,000 株
2021年3月期2Q	56,122 株	2020年3月期	56,122 株
2021年3月期2Q	1,167,878 株	2020年3月期2Q	1,167,878 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期初より新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたこともあり、序盤から大変厳しい展開となりました。その後、中断・自粛されていた経済活動が徐々に再開され、厳しい中にも景気持ち直しの芽が出始めました。しかしながら、従来スタイルからの社会変革が性急に求められる中、新型コロナウイルス感染症の拡大不安が足かせとなり、設備投資をはじめ雇用や家計に至るまで、経済回復の水準は、なお低い状態で推移しました。

このような状況下におきまして、「安全・迅速・信頼」をモットーに積極的な事業展開をまいりました結果、当社グループの事業別業績は次のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの営業状況は以下のとおりであります。

①海運事業

内航事業では、太宗貨物である鉄鋼製品の需給調整を受け、前期より輸送需要の落ち込みが続いており、その取扱量は673千トン（前年同期比27.1%減）と低迷しました。これに加え新型コロナウイルス感染症の影響による輸送計画の停滞等により、運航効率と収益性を大きく悪化させることとなりました。結果としまして、売上高は2,765百万円（前年同期比17.1%減）と減収になりました。これに対し、輸送コストの見直しや管理経費の軽減に努めましたが、営業利益41百万円（前年同期比64.1%減）と減益になりました。

外航事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による経済の停滞が世界レベルのサプライチェーンの寸断を招き、輸送計画は総じて大幅に変更せざるを得ない状況となりました。主力の日露間の運航にあっても船積みロットは縮小され、復路貨物が減少するなど、その収益性は大きく落ち込みました。結果としまして、売上高は604百万円（前年同期比29.4%減）と減収になりました。これに対し、管理経費の削減に努め、収益性の落ち込みを補いましたが、営業利益は1百万円（前年同期比96.8%減）と減益になりました。

②港運・倉庫事業

港運事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の急落を受け、相対的に厳しい事業展開となりましたが、神戸地区の新倉庫稼働に伴う危険品貨物の取り扱いが少なからず業績に寄与しました。また、新規安定貨物の営業活動が奏功し、厳しい中にも一定の成果を見ることができました。結果としまして、新規取り組み効果もあり売上高は2,321百万円（前年同期比2.9%増）と増収になりました。しかしながら、既存貨物の減少による収益低下に厳しいものがあり、営業利益6百万円（前年同期比86.5%減）と減益になりました。

倉庫事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による景気低迷を受け、倉庫事業をけん引していた姫路地区危険品倉庫の伸びが抑えられ、その他の普通品倉庫群にあってもより厳しい状況に苦戦しました。一方で、前期末に新設稼働した兵庫埠頭物流センター（危険品倉庫と普通品倉庫の併設）が、厳しい状況ながらも業績をけん引し始めました。結果としまして、売上高は722百万円（前年同期比5.1%増）と増収になりました。また、新倉庫の償却負担も膨らみましたが、管理経費の一層の節減に努め、営業利益31百万円（前年同期比28.4%増）と増益を計上することができました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,414百万円（前年同期比10.1%減）、営業利益80百万円（前年同期比64.5%減）、経常利益99百万円（前年同期比62.3%減）、特別利益に固定資産売却益269百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は258百万円（前年同期比41.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は11,745百万円となり、前連結会計年度末と比較して509百万円増加いたしました。

流動資産は3,810百万円となり、前連結会計年度末と比較して648百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加866百万円、前払費用の増加27百万円等に対して、受取手形及び売掛金の減少138百万円、その他に含まれる未収消費税等の減少128百万円等によるものであります。固定資産は7,935百万円となり、前連結会計年度末と比較して139百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の時価の上昇等による増加224百万円、社船建造に伴う建設仮勘定の増加175百万円等に対して、固定資産売却に伴う固定資産の減少312百万円、減価償却による固定資産の減少218百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は8,862百万円となり、前連結会計年度末と比較して161百万円増加いたしました。

流動負債は4,514百万円となり、前連結会計年度末と比較して105百万円増加いたしました。これは主に、その他に含まれる未払消費税等の増加97百万円、未払法人税等の増加92百万円等に対して、支払手形及び買掛金の減少81百万円等によるものであります。固定負債は4,347百万円となり、前連結会計年度末と比較して56百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加28百万円、退職給付に係る負債の増加15百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,883百万円となり、前連結会計年度末と比較して347百万円増加いたしました。

これは主に、その他有価証券評価差額金の増加151百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上258百万円等に対して、配当金の支払による減少58百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は24.55%となり、前連結会計年度末と比較して1.98ポイントの上昇となりました。

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ866百万円増加し2,260百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は597百万円（前年第2四半期連結累計期間は296百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益369百万円、減価償却費218百万円、売上債権の減少額138百万円、未収消費税等の減少額128百万円等に対して、固定資産売却益269百万円、仕入債務の減少額81百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は337百万円（前年第2四半期連結累計期間は1,345百万円の使用）となりました。これは、固定資産の売却による収入581百万円等に対して、有形固定資産の取得による支出220百万円、短期貸付金の増加額26百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は69百万円（前年第2四半期連結累計期間は1,111百万円の獲得）となりました。これは、長期借入れによる収入800百万円に対して、長期借入金の返済による支出770百万円、配当金の支払額58百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年8月13日に公表いたしました「業績予想のお知らせ」に記載の数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,394	2,260
受取手形及び売掛金	1,472	1,334
原材料及び貯蔵品	22	17
前払費用	24	51
その他	249	147
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,161	3,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	6,295	6,056
減価償却累計額	△2,541	△2,551
建物及び建物付属設備(純額)	3,753	3,505
船舶	2,992	2,959
減価償却累計額	△2,084	△2,135
船舶(純額)	908	824
土地	1,526	1,526
建設仮勘定	—	175
その他	1,025	1,015
減価償却累計額	△493	△520
その他(純額)	531	495
有形固定資産合計	6,720	6,527
無形固定資産		
その他	160	41
無形固定資産合計	160	41
投資その他の資産		
投資有価証券	1,023	1,247
その他	198	146
貸倒引当金	△27	△26
投資その他の資産合計	1,193	1,367
固定資産合計	8,074	7,935
資産合計	11,236	11,745

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,054	973
短期借入金	3,197	3,173
未払法人税等	21	114
賞与引当金	3	3
その他	132	250
流動負債合計	4,408	4,514
固定負債		
長期借入金	3,726	3,755
船舶修繕引当金	34	46
退職給付に係る負債	414	429
その他	115	116
固定負債合計	4,291	4,347
負債合計	8,700	8,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	1,788	1,987
自己株式	△118	△118
株主資本合計	2,315	2,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237	388
繰延ヘッジ損益	△16	△19
その他の包括利益累計額合計	220	368
純資産合計	2,535	2,883
負債純資産合計	11,236	11,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	7,138	6,414
売上原価	6,035	5,493
売上総利益	1,102	921
販売費及び一般管理費	876	841
営業利益	226	80
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	16	16
持分法による投資利益	12	7
受取保険金	11	0
その他	22	15
営業外収益合計	64	40
営業外費用		
支払利息	23	19
その他	2	2
営業外費用合計	26	21
経常利益	264	99
特別利益		
固定資産売却益	—	269
特別利益合計	—	269
特別損失		
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	260	369
法人税等	77	111
四半期純利益	182	258
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	182	258

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	182	258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	150
繰延ヘッジ損益	△18	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△86	147
四半期包括利益	96	406
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	96	406
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	260	369
減価償却費	161	218
固定資産売却損益(△は益)	—	△269
為替差損益(△は益)	2	1
デリバティブ評価損益(△は益)	△2	—
投資有価証券評価損益(△は益)	3	—
持分法による投資損益(△は益)	△12	△7
受取利息及び受取配当金	△18	△17
支払利息	23	19
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21	15
船舶修繕引当金の増減額(△は減少)	4	11
売上債権の増減額(△は増加)	86	138
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26	5
仕入債務の増減額(△は減少)	△30	△81
未払消費税等の増減額(△は減少)	20	97
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	128
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△34	△6
その他	△64	△20
小計	398	601
利息及び配当金の受取額	19	18
利息の支払額	△26	△19
法人税等の支払額	△128	△18
その他	34	15
営業活動によるキャッシュ・フロー	296	597
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,327	△220
固定資産の売却による収入	—	581
短期貸付金の増減額(△は増加)	△30	△26
長期貸付けによる支出	△6	△9
長期貸付金の回収による収入	22	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,345	337
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,400	△24
長期借入れによる収入	600	800
長期借入金の返済による支出	△815	△770
リース債務の返済による支出	△14	△16
配当金の支払額	△58	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,111	△69
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	62	866
現金及び現金同等物の期首残高	1,583	1,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,646	2,260

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて重要な変更はありません。